

「フルハーネス型安全帯使用 特別教育」開催のお知らせ

安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

墜落および転落による災害防止をより促進するために、2019年2月1日以降、一定の作業においてはフルハーネス型の安全帯を使用しなければならなくなりました。あわせて特別教育の受講も義務付けられました。

東京土建技術研修センターでは、下記の日程で「フルハーネス型安全帯使用特別教育」を実施いたします。多数の申し込みが予想されますので早めの受講をおすすめいたします！

今回の法改正のポイント

POINT①

- 「安全帯」の名称が「墜落制止用器具」に変更されました。
- 従来の安全帯のうち「胴ベルト型(U字つり)」は、墜落制止用器具から除かれました。

POINT②

- 墜落制止用器具は「フルハーネス型」の使用が原則！
- ただし、高さ6.75m以下の作業は「胴ベルト型」を使用できます。

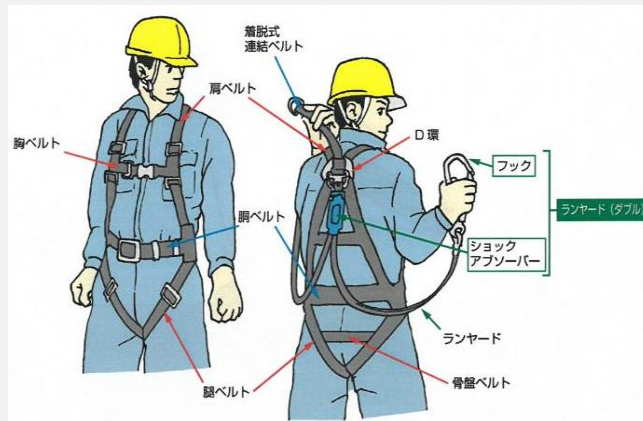
POINT③

- 該当業務を行うものは、特別教育を受講しなければなりません。
- ただし、一定の条件のもとに教育の一部を省略することが可能な場合があります。

来年2月1日
から改正！

特別教育の日程

2018年11月20日(火)	9:00 - 16:20
2018年11月28日(水)	9:00 - 16:20
2018年12月6日(木)	9:00 - 16:20
2018年12月12日(水)	9:00 - 16:20
2019年1月23日(水)	9:00 - 16:20
2019年1月29日(火)	9:00 - 16:20



会場：東京土建技術研修センター

(東京都豊島区池袋1-8-6)

受講料：8,000円

申し込み方法：

所定の申込書にご記入のうえ、写真(3cm×2.5cm)1枚と受講料、その他必要書類を揃えて下記の東京土建足立支部までご提出下さい。

注) 東京土建に未加入の方は、事前に組合までご相談ください。



問い合わせ先：東京土建一般労働組合足立支部

住所：東京都足立区梅島1-2-26 TEL:03-5845-5011

安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

～ 安全・安心な作業のため、適切な器具への買い換えをお願いします ～

厚生労働省は、建設業等の高所作業において使用される「安全帯」について、以下のような改正を行うとともに、安全な使用のためのガイドラインを策定しました。

今回の改正等のポイント

1. 安全帯を「墜落制止用器具」に変更します (安衛令(注1)の改正)

「安全帯」の名称を「墜落制止用器具」に改めます。

「墜落制止用器具」として認められる器具は以下のとおりです。

	安全帯		墜落制止用器具	
①	胴ベルト型 (一本つり)	○→	胴ベルト型 (一本つり)	
②	胴ベルト型 (U字つり)	×	×	
③	ハーネス型 (一本つり)	○→	ハーネス型 (一本つり)	

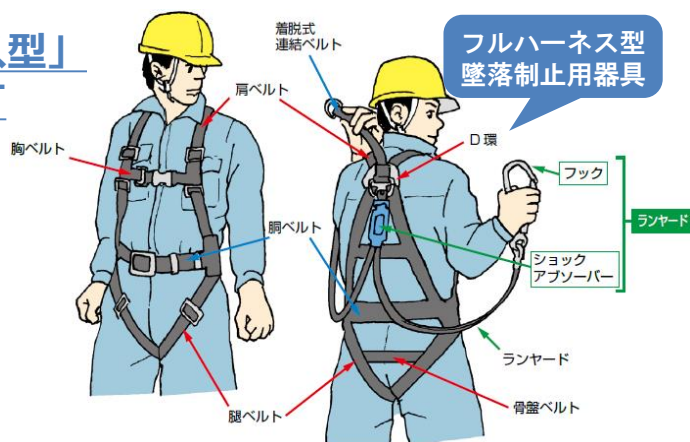
②には墜落を制止する機能がないことから、改正後は①と③のみが「墜落制止用器具」として認められることになります。

※ 「墜落制止用器具」には、従来の安全帯に含まれていたワークポジショニング用器具であるU字つり用胴ベルトは含まれません。なお、法令用語としては「墜落制止用器具」となりますが、建設現場等において従来からの呼称である「安全帯」「胴ベルト」「ハーネス型安全帯」といった用語を使用することは差し支えありません。

2. 墜落制止用器具は「フルハーネス型」を使用することが原則となります

(安衛則(注2)等の改正、ガイドライン(注3)の策定)

墜落制止用器具はフルハーネス型が原則となりますが、フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合(高さが6.75m以下)は「胴ベルト型(一本つり)」を使用できます。



3. 「安全衛生特別教育」が必要です

(安衛則・特別教育規程(注4)の改正)

以下の労働者は、特別教育(学科4.5時間、実技1.5時間)を受けなければなりません。

▶ 墜落の危険がある作業のうち「特に危険性の高い業務」を行う労働者。

「特に危険性の高い業務」とは、高さが2m以上の箇所において、作業床を設けることが困難な場合で、フルハーネス型を使用して行う作業(ロープ高所作業を除く)などの業務をいいます。

(注1)労働安全衛生法施行令 (注2)労働安全衛生規則 (注3)墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (注4)安全衛生特別教育規程

事業主の皆さまは、このリーフレット等を参考に、安全・安心な作業環境、ルールづくりを徹底してください。作業員の皆さまも、定められたルールに従い、適切な器具の使用をお願いいたします。

政令等の改正について P2～

ガイドラインについて P4～

